



醸芳っ子通信

桑折町立醸芳小学校だより

令和7年11月19日 No.11

文責 校長 花輪 忠康

【教育目標】よく考えて学ぶ子ども(知) 親切で思いやりのある子ども(徳) 健康で明るい子ども(体)

合言葉「こつこつ とことん あきらめない」(継続・徹底・根気)

6年修学旅行～那須・松島・仙台方面～

11月6日(木)7日(金)は、6年生の修学旅行でした。「見聞を広め、自然や文化に親しみ、よりよい人間関係を築く集団生活や公衆道徳の体験を積むこと」が修学旅行のねらいです。

1日目は、那須ハイランドパークでの体験活動。2日目は、松島・仙台での歴史学習でした。両日とも快晴で最高の日和でした。事故や怪我がなく、思い出に残る修学旅行ができたのも、旅行の計画を立ててくださった先生方、そして、旅行の準備をしてくださった保護者様のおかげです。ありがとうございました。なお、詳しい活動の様子は、[「醸芳小学校ホームページ」](#)をご覧ください。



こむこむ館見学(2年)～電車でGO!～

11月5日(水)、2年生は、生活科の学習で福島市「こむこむ館」に行きました。晴天の中、桑折駅から福島駅までの電車の旅。わくわくした気持ちで電車に乗った子もいたようです。

こむこむ館では、いろいろな科学のゲームや冒険の海をテーマとした展示があり、子どもたちも夢中になって遊ぶ様子が見られました。



お昼には、グループになって持参したお弁当をおいしく食べる様子も見られました。

午後は、子どもライブラリーで読書タイム。3万4千冊の児童書の中から、子どもたちは思い思いに興味のある絵本を取り出し、静かに読むことができました。是非とも家族で福島駅に行って、こむこむ館を訪れてみてはいかがでしょうか。



交通安全標語表彰式

11月11日（火）、桑折地区住民自治協議会の工藤会長様をはじめ、役員の皆様のご臨席のもと、交通安全標語表彰式が開催されました。今回、優秀作品に選ばれた24名の児童の皆さんの標語が、町の各所に掲げられることになりました。

選ばれた児童の作品は、道を行き交う人たちの目にとまり、交通安全の啓発に役立つはたらきをします。皆さんの思いが桑折町全体に広がり、交通事故のない安全な町になることをお祈りします。皆さん、受賞おめでとうございます。



第3回避難訓練（予告なし）



11月13日（木）、子どもたちには予告なしでの避難訓練を行いました。先日岩手県の三陸沖で地震が発生しましたが、地震はいつ発生するか分かりません。ふだんから安全に避難する訓練が必要です。大きな地震がくると、だれもが慌てます。そうした非常事態の中でも、大切なことは「落ち着いて行動する」こと。放送を聞く、先生の指示に従うなどです。それぞれの場所で地震がおさまるのを待って、教室で振り返りを行いました。

また、昼の放送は、「地震の際の心構え」について番組放送を行いました。自分の命は自分で守る。真剣に学習に取り組むことができました。

防災教室出前授業（6年）

11月14日（金）、6年生は、理科の学習で防災教室を行いました。保原土木事務所の江尻様・有我様、県防災ボランティアの皆様から、自然災害の仕組みや災害から身を守る方法について教わりました。また、保護者の皆様にもご参観いただきました。

自然災害には、地震・津波・台風・洪水・地滑りなどがあります。桑折町でもかつて、大雨によって佐久間川が氾濫したり、阿武隈川の防波堤を超える増水があったりしたとのことでした。

身を守るためには、被害になりやすい地区を示したハザードマップを見たり、天候の変化によって集中豪雨や長雨などの災害を予測したりすることが大切です。

また、実際に模型を使って、崖崩れや土石流が起こる仕組みを教えてくださいました。備えあれば憂いなし。防災は「心構え」と「日頃からの備え」によって、災害から命を守ることができます。

保原土木事務所やボランティア協会の皆様、ご指導ありがとうございました。



租税教室推進校表彰式



11月11日（火）、福島税務署長の草野様、広聴官の浦山様が来校され、租税教室表彰式を行いました。

租税教室は、毎年6年生が、税に関する学習を行う授業です。税の意義や役割を正しく理解してもらい、税に対する理解が広がっていくことを目的として開催される授業です。具体例では、子どもたちに身近な消費税を取り上げ、その税金の使われ方についてビデオやパンフレットを活用して理解を深めています。

そうした取組が認められ、今回の表彰となりました。校長が代表として学校賞をいただきました。